

渚西中だより

令和6年3月22日(金) 第6号
枚方市立渚西中学校
校長 野口 明郎

校訓『自律・協調・努力』

本日令和5年度修了式を終えました

本日、令和5年度修了式を終えました。保護者の皆さまには、今年度も様々な場面において、本校の教育活動にご理解・ご支援をいただきましたことに深く感謝いたします。

さて、本校に着任し1年が経とうとしています。今日の修了式の場でも生徒の皆さんに直接お伝えしましたが、この1年間だけを見ても、渚西中学校の「良さや素晴らしさ」をたくさん実感できました。中学校生活の3年間という時間は、「人生というものさし」で見たときには、決して長い時間ではありませんが、生徒の皆さんが取り組んでこられた「良さや素晴らしさ」は、これからの人生の土台となっていくものです。

令和6年度に向けて、今年度の振り返りを各学級や学年でも行ったと思います。自身の課題は課題として振り返る必要はありますが、併せて、自分自身の「良さや素晴らしさ」も実感できる力も身に付けて欲しいと思います。その実感できた「良さや素晴らしさ」が、それぞれの可能性を広げる力となるはずです。

令和6年度も、たくさんの人とつながっていること。学校の学びが社会とつながっていること。そして、今年度以上に渚西中学校の「良さや素晴らしさ」を皆さんとともに、また、皆さん一人ひとりも自身の「良さや素晴らしさ」を実感出来る1年になることを楽しみにしています。

結びとなりますが、保護者の皆さまには、令和6度も引き続き、本校教育に対し、ご理解・ご支援いただけますよう宜しくお願いいたします。

【修了式での校長からの話の概略を紹介させていただきます】

今年度を振り返り以下の話をしました。

前向きに捉え行動できる力の素晴らしさ

今年度の皆さんの頑張りの中で、苦手なこともあったと思いますが、それでも、**前向きに行動し、学級で、学年で、学校全体で楽しんでいる姿にとっても感動した**ことが印象に残っています。そういった行動や姿は、とても大切なことで、最近のハーバード大学の研究においても、自分が楽観的だと答えた人ほど身体が健康で、健康的な習慣を身に付けているだけでなく、精神的にも社会的にも充実していることが判明しています。つまり、**皆さんが体験された行動や思考の素晴らしさは、世界的にも証明されている**のです。そのことに自信をもって次年度も前向きに楽しんでいく力を更に伸ばして欲しいと思います。

当たり前のことに感謝できる力を大切に

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで様々な制限が解除されましたが、**約3年間の様々な行動制限の中で多くのことを感じました**。何も心配することなく人とつながれることや何も心配することなく勉強ができること、そして何も心配することなく学校に来ること…**様々な制限は解除されましたが、当たり前だったことが奪われることがどれだけ不安だったか忘れることなく、今の当たり前で感謝できる**皆さんであって欲しいと思います。